



沖縄県平和祈念資料館の不発弾のコーナーにて



平和の礎の恩納村戦没者の刻銘の前で

Bluetoothでスピーカーにつなげ、2台のバスで同時に案内できるようにしました。バスとバスの距離が開きすぎると、音声が届かなくなることもありましたが、ほぼ音声は良好な状態で、2台同時に案内することができました。

対馬丸記念館では対馬丸に実際に乗船し、一命を取り止めたもの、お母さんと妹を亡くし、また沖縄戦でお父さんを亡くした照屋さんのお話をじっくりと聞くことができました。生徒たちは自分達と同年代の子どもたちがどんな体験をしたかを知る事で、戦争について考える機会となりました。

午後は韓国人慰霊塔、平和の礎をまわり、魂魄の塔に向かいました。3万5千人分の遺骨が収骨されていた魂魄の塔のすぐ近くの場所から、遺骨の混じった土砂を運んで辺野古新基地建設の埋め立てに使用

されようとしている問題についても考えてもらう機会になりました。

学習発表会

12月、自分達が学んだことを保護者の方々が見守る中で、学習発表会が行われました。6月、10月と一緒にまわってきた私も招待をうけ、約10分間にわたる発表に見入りました。

一人ひとりが感じたこと、聞いたこと、見たことをどう受け止めたかをクラス全体で重ね合わせ、大きなシナリオをつくり、そのシナリオをまたそれぞれ担当し発表するもので、生徒たちの思いがひしひしと伝わってきました。

生徒たちは博物館に勤務する職員にもお礼の意味をこめて発表したということ、後日、博物館研修室でも披露してくれました。また村役場の職員の前でも披露しました。

4月に入学するうんな中学校でもさらに一歩進めて、多くのことを学び、成長してほしいと願うばかりです。次年度も村史編さん係は村内の学校のさまざまな学びを応援し、調査した結果を還元していきたいと思えます。(瀬戸)

～短信～

2022年3月、恩納村の戦時記録をまとめた戦争編が発刊されます。恩納村でどんな戦争があったのが、村民がどのような体験をしたのかを、証言や資料で一冊の本にまとめました。

多くの方が手にとって読んでもらえるよう、編さん係全体で、編集をすすめています。

